

東南アジアの現代の人身取引と 日本の若年層の性的・経済搾取の課題

*タイ側から見るメコン川対岸ラオス中国資本のカジノなどの建物。
ここで特殊詐欺や強制売春などの人身取引が行われているといわれている

日時：2025年6月7日（土）14時～16時
開催方法：Zoomによる開催
（13:30入室開始、英語通訳つき）

人身取引の形態は犯罪者らの需要に合わせて刻一刻と変容します。

しかし、弱くされている者たちから搾取して暴利を貪るという構造は変わりません。日本では80年代後半から90年代初頭にフィリピンやタイから女性たちが性風俗産業に人身取引された経緯がありますが、近年、日本から東南アジアへ特殊詐欺や性的搾取などの人身取引が逆流している実態もあります。今回のセミナーでは東南アジアのタイを中心とした周辺諸国（ミャンマー、ラオス、インドネシアなど）の人身取引の現状とともに、日本の若年層の人身取引などさまざまな搾取（性的、経済的）に対する脆弱性とその課題を考えます。そして、こうした課題に立ち向かう民間団体の事例や、女性や少女が声を上げることを妨害する実態についても共に考えていければと思います。みなさまのご参加をお待ちしています。

プログラム

開会の祈り：森山信三司教

（日本カトリック難民移住移動者委員会担当司教）

講演と質疑応答：斎藤百合子さん

（大東文化大学教員、一般社団法人Colabo理事）

閉会の挨拶と祈り：Sr.弘田しずえ

（タリタクム日本運営委員長）



斎藤百合子さん

恵泉女学園大学、明治学院大学を経て、2020年度より大東文化大学国際関係学部 特任教授。一般社団法人Colabo理事、横浜YMCA国際事業委員、JICA緒方貞子平和開発研究所第三者評価委員。主に人身取引研究（特にタイやメコン地域、日本）、地域研究（タイ）、ジェンダー、移民研究（在日タイ人グループ）に取り組むとともに、支援の実践にもかかわる。



事前申込が必要です。

左のQRコードもしくは
以下のURLからお申込みください。
後ほどズームリンクをお送りします。

<https://forms.gle/nLKhxGWJCxSQqhw4A>

主催・お問い合わせ先

日本カトリック難民移住移動者委員会 jcarm@cbcj.catholic.jp



人身取引に賛同を!